

平成28～30年度 文部科学省教育課程特例校（英語教育）
平成28年度 熊本県「生きる力」を育む研究指定校（小学校英語教育研究推進校）
御船町立小坂小学校公開授業研究概要

研究主題

豊かなコミュニケーション力を身に付け、国際社会をたくましく生きる児童の育成を目指して
～「どの子も楽しく『分かる・できる』授業のUD」を通して～

目指す児童像

- 楽しんで英語でのコミュニケーションを図ろうとする児童
- 英語の音声に慣れ親しみ、日常生活の簡単な英語を聞いたり話したりできる児童
- 日常生活で使う簡単な英単語や英文を読んだり書いたりしようとする児童

高学年（5・6年）

Let's learn English 学ぼう英語（70時間）

習った表現を使って会話ができる児童



中学年（3・4年）

Let's enjoy English 楽しもう英語（70時間）

習った表現を聞いたり話したりできる児童



低学年（1・2年）

Let's play English あそぼう英語（34・35時間）

習った単語を聞いたり話したりできる児童



小・中学校9年間を見通した系統 → 学習内容・発達段階に応じた活動内容・評価方法 小中連携

仮説Ⅰ

相手意識を持てるような活動を取り入れた授業づくりをすれば、児童が自らコミュニケーションを図ろうとすることができるだろう。

仮説Ⅱ

授業のUDを取り入れて、楽しく学ぶ場の設定を工夫すれば、児童が「分かった、できた」を実感することができるだろう。

アセスメント → 授業内の評価・振り返りカード・意識調査・実態調査

仮説 I

相手意識を持てるような活動を取り入れた授業づくりをすれば、児童が自らコミュニケーションを図ろうとすることができるだろう。

豊かなコミュニケーション力を身に付け、国際社会をたくましく生きる児童の育成を目指して

仮説 II

授業のUDを取り入れて、楽しく学ぶ場の設定を工夫すれば、児童が「分かった、できた」を実感することができるだろう。

過程		学習活動		仮説Ⅰ		仮説Ⅱ	
おさえる	1 Greetings (あいさつ)	自らコミュニケーションを取ろうとするための スモールステップ 焦点化	～どの児童も自信を持って英会話できるように～ ①Greetings(あいさつ)やLet's sing(歌) 笑顔で楽しくスタート。 ②「Chant」や「Activity1」で、本時の学習内容を 繰り返し「聞く」「話す」 Let's chant! Can you play~? Can you swim? ③「Activity2」 同じフレーズを何度も繰り返し聞き、 自信を持って言えるようにする。	授業中の言語環境 ●クラスルームイングリッシュ (教師自身が英語でコミュニケーションにチャレンジ!) Hello, class! How are you today? ●コミュニケーションポイント Clear Voice Eye contact Smile Gesture Reaction はっきり 伝わる声で 相手を よく見て 表情 豊かに ジェスチャーを つけて 反応 豊かに	視覚化 ICT の活用 画面を見ながら一緒に動作化を行い、 楽しい活動につなげています。 ピクチャーカード 新しい表現等はカード で示して、活動への不安感をなくしています。 デモンストレーション 活動の仕方やルール を理解するためにデ モンストレーション を行います。	黙想 黙想から授業が 始まります。 児童は、教室の 8点から、児童 に向かって 発表。 8点発表	
	2 Let's sing						3 Let's chant
ざいり ようを そろえる							
かんがえる							
まとめる							

英語環境づくりの取組

7/6(水) 今週のひとこと English

「いつも ありがとうございます！」

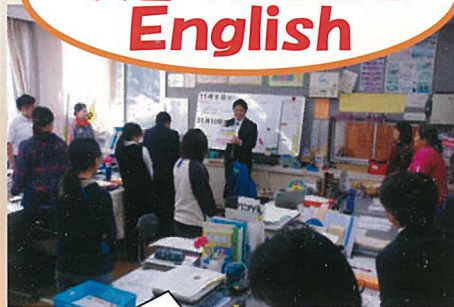
Thank you always.

サンキュー オールウェズ 職場で、ご家庭でもぜひ！

「ごちそうさ、My pleasure または Likewise

マイ プレジャー ライクワイズ

今週のひとこと
English



毎週水曜日の職員朝会の中で、
「今週のひとこと English」
を職員全員で練習し
Classroom English を増やして
います。

○本校の英語教育の実際を
保護者に紹介しています。

小坂小
研究部だより

Ozaka show.com

小坂小学校 研究部だより

平成28年7月28日(木) N.3
研究目標 < 豊かなコミュニケーション力を身に付け、国際社会を
たくましく生きる児童の育成を目指して >

「夢の修学旅行先を紹介します！」

このテーマで、6年生は英語を使っているミニスピーチに
挑戦しました。お家の人に聞いたり、資料を用意したりし
て、学んだ英語表現を上手く使いながら国内や国外のおす
め旅行先を発表してくれました。初めての Show and
Tell であってみんな緊張の面持ちでした。

Hello. My name is Keitaro. I like baseball. 「ぼくは野球が好きです。」
I want to go to America. 「(だから修学旅行は) アメリカに行きたいです。」
And I want to see baseball games. 「(それと) 野球の試合も見たいですね。」
Let's go to America! Thank you. 「(修学旅行は) アメリカにぜひ行きましょう。」

Hello. My name is Kokomi. I like sea! 「海が好きです！」
I want to go to Hawaii. 「私はハワイに行きたいです。」
I want to swim. 「(そこで) 泳ぎたいんです。」
Sea is good! 「(ハワイの) 海はいいですよ。」
Let's go to Hawaii! 「(みんな) ハワイに行きましょう。」

他には『フィリピンでのバナナ』や『台湾でのスウィーツ
やき氷をぜひ!』、『グアムのビーチで泳ごう』、『フラン
スでおいしいフランス料理を』、『オーストラリアでのサマ
ーサンタが必見!』、『マンガがすき、東京デイズニャ〜』、
『沖縄で泳ぎ、テニスもしたい』、またニュージーランドや
静岡、京都など工夫しながらしっかり話してくれました。
子ども達の感想にも「ナイススマイル」「クリアボイス」
「ちゃんとみんなを見て分かり易いようにゆっくり
話していました。」というコメントが見られました。

お家でも、ちょこっと「え〜会話」(英会話)

★「ただいま〜」 I'm home.
★「おかえり〜」 Hello. Welcome home.
★「今日はお疲れ様でした」 Good work today.



児童会による
日めくりカレンダー

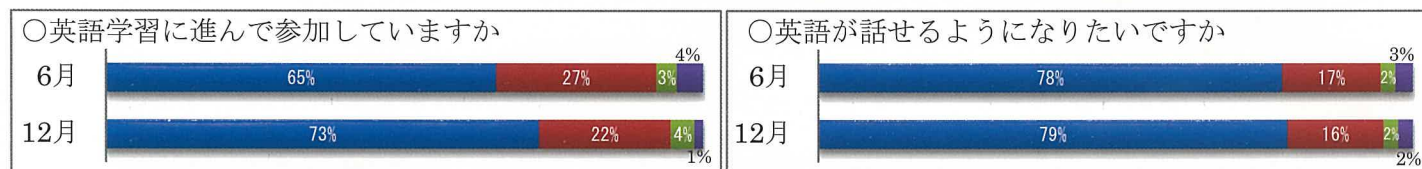
英語環境

イングリッシュ
ライブラリー

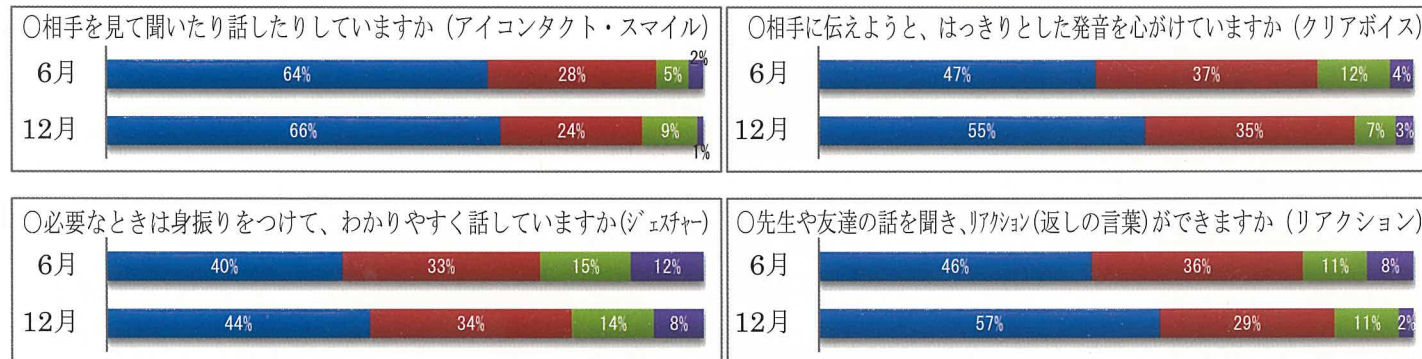


おざかっこアンケートの結果から (H28.6月・12月実施)

英語学習への興味・関心について



コミュニケーションポイントについて



○「英語を話せるようになりたい」という願いを持ち、英語の学習に進んで参加している児童が多い。

○コミュニケーションポイントの意識が向上してきている。特にリアクション(「I see」「Me, too」等)の言葉を授業の中で繰り返し使うことで、返しの言葉が言えるようになってきている。

▲身体(ジェスチャー等)を使った表現に苦手意識を持っている。身体(ジェスチャー等)を使う場面を多く取り入れていきたい。